



31年2月号

## 検査室だより

一年を通して一番寒い時期になりました。それでも、だんだん日は長くなり、梅の花も咲き始めています。どんなに寒い冬でも春は必ずやってきます。もうすぐ「春」です。

「インフルエンザ」に「はしか」、人ではないけれど「豚コレラ」。東海地方には「うつる」病気が蔓延しています。インフルエンザに至っては愛知県は、全国の患者数ワースト1位になってしまいました。各地で「インフルエンザ警報」が出ています。かかりたくないインフルエンザですが、今ではよく効く薬も出てきました。発症してから48時間以内に薬を飲むと比較的軽い症状で収まる、と言われています。「インフルエンザかも・・・」と思ったら一刻も早く薬を飲みたいものです。そのためにも少しでも早く「インフルエンザ」と確定しなければいけません。今、インフルエンザの検査キットは30種類以上あります。インフルエンザウイルスだけが持っているたんぱく質と反応してA型かB型かを知らせてくれます。鼻やのどの奥の粘膜を綿棒でこすって検査をします。最近では鼻水



で検査ができるものも出てきました。ある程度インフルエンザウイルスが増えないと検査をしてもうまく結果が出ません。熱が出てから6時間以上たたないと正しい結果が出ないといわれています。「発熱」はたくさん増えたインフルエンザウイルスとカラダが戦っている証拠なのです。発熱後、病院へ行って検査をしても「インフル陰性」と言われて、次の日もう一度検査をしたら「陽性だった」なんていう話もよく聞きます。検査の仕組みを知っていたら2日も続けて病院で検査



しなくてすむかもしれませんね。「インフルエンザ」は毎年、死者も出る病気です。できればかかりたくありません。しっかり予防することが大切です。流行前に予防接種をしましょう。外出時にはマスクをつけ、帰ってきたらうがい、手洗いです。春まで流行が続くこともあります。バランスの良い食事やたっぷり休養をとることも忘れずに。

花粉症の方はそろそろ気になる時期になってきたのではないのでしょうか。「春」が楽しみな人ばかりではありませんね。早めの対策で「春」を迎えてください。

公衆保健協会 検査室

